



2020年10月28日

各位

アルフレッサ株式会社
経営企画部

株式会社 Lily MedTech との総販売代理店契約締結について

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福神雄介、以下「アルフレッサ」といいます)は、株式会社 Lily MedTech(本社:東京都文京区、代表取締役:東志保、以下「Lily MedTech」といいます)と同社が開発する乳房用超音波画像診断装置の日本国内の医療機関に対する総販売代理店契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

Lily MedTech は、『「乳がんと闘う」この言葉のない世界を目指して』を企業理念に掲げ、女性に優しい、リング型超音波振動子を用いた革新的な乳房用超音波画像診断装置の開発を目指すベンチャー企業です。同社が開発する「リングエコー」^{※1}は、現在の乳がん検診における X 線マンモグラフィの被ばくりスクや検診の際の圧迫による痛み、乳腺比率の高い女性に対する検査精度低下^{※2}の課題を解決する新しい医用画像撮像技術として期待されています。

アルフレッサは、Lily MedTechが開発を進めているリングエコーの製品化実現を支援するため、2019年9月および2020年4月に同社に出資し、同社の事業進捗にあわせ上市後の日本国内の医療機関に対する総販売代理店契約締結^{※3}に向け、両社で協議を進めてまいりました。本契約締結に伴い、今後は両社でリングエコーを利用した乳房用超音波画像診断装置の販売拡大に向けより一層強固な関係を築くとともに、「乳がんと闘う」ことのない世界を目指し、パートナーとして共に歩んでまいります。

また、アルフレッサは今後、女性MS中心の専任チームを設置し、女性特有の疾患に対する悩みや課題に寄り添い解決に導けるよう積極的に取り組むとともに、これまで以上に女性が活躍できる体制と環境を整えてまいります。本製品の販売はその第一弾として、専任チームと共に国内の医療機関様へとお届けしてまいります。

- ※1 超音波振動子をリング状に並べ、均質かつ解像度の高い撮像を可能とする技術
- ※2 統計では若い女性に多いとされる乳腺の発達した乳腺比率の高い女性の場合、マンモグラフィでは、乳腺も腫瘍も白く映るため、乳がんの判別が難しい
- ※3 日本国内の医療機関に対する乳房用超音波画像診断装置の売買型独占的販売契約

2. 資本提携の内容

Lily MedTech が実施した第三者割当増資により取得した総株式の数 352 株^{※4}
発行済株式数に対する割合 15.8%^{※5}

※4 種類株式

※5 全ての発行済み種類株式を普通株式へ転換した場合の普通株式における割合

3. 今後の見通し

本業務提携による 2021 年 3 月期の業績に与える影響につきましては、現時点では軽微であると見込んでおります。

<株式会社 Lily MedTech について>

2016 年創業した東大発ベンチャー企業。超音波 CT 技術に強みを持ち、乳がん領域の課題を解決する革新的な乳房用画像診断装置の開発を行っています。最先端の AI・計測技術の研究者、医師、放射線技師など、高い専門性を有する多様なメンバーが在籍し、同じ理念に向けて融合・調和することで新たな価値を提供しています。

以上